

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

シルバリーの職場で語らう個人史が

旧知の如く空気と和ます

●印西市 山田 明

夕日映え秋に向かつて心する

行くて阻むも勇猛果敢

●平塚市 鬼武澄江

御朱印帳手に取る僧のうら若き

筆のなめらか修行の美なり

●平塚市 田中博由

妻病みて全々快と我信ず

夜空の星も静かに光る

●姫路市 黒岩道博

相撲甚句披露するのは敬老会

唄える喜び吾れも敬老

●香芝市 高田尚昭

散歩道後から後へついて来る

中秋の月夜路照らすや

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

遅れ蝉鳴いて鐘なる里の秋

●仙台市 菱沼俊行

秋あかね重なり合つて穂の先に

●神栖市 安澤宏介

悠久の利根の河原や月見草

●本庄市 入 利雄

歳月や変はり果てたる秋生活

●本庄市 長谷川千鶴子

満月や思い叶える旅の宿

●草加市 長谷部禎子

秋爽やか宝毛に笑み嫁衣裳

●戸田市 稲田隆博

雲剥がし秋を引き寄す旅カバン

●戸田市 篠崎志津子

蝉しぐれ耳せず野分き次々と

●朝霞市 林 則雄

仲秋の影の奥より虫の声

●東京都葛飾区 東海洋一

爽やかに襟元触れし秋の風

●東京都葛飾区 村井正夫

異常気象九月の抜けし曆かな

●武蔵村山市 原野晴光

赤のれん目ざしを友に一人酒

●塩尻市 大家協治

鶏頭の深紅頭わに陣屋跡

●塩尻市 奥原光夫

満月や大谷記録いくつまで

●塩尻市 小野正平

分け入れば木瓜ぼけの実一つ花一つ

●塩尻市 町田まさ子

月明かり狐も遊ぶ秋の庭

●木津川市 岡嶋眞澄

床紅葉夕日に萌える京の山里さと

●門真市 藤岡春男